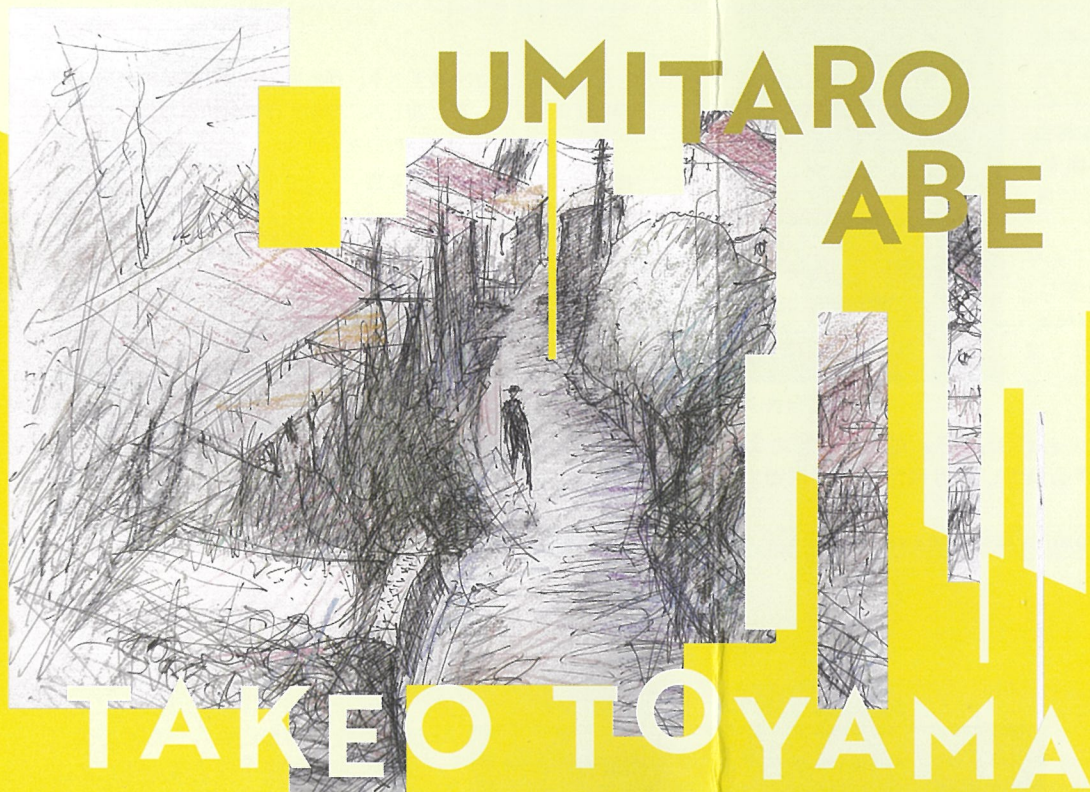


しんぱいする さそう ひっぱりこむ
かなしむ



現在開催中の展覧会「山本一雄 小さな部屋から」の関連企画として、作曲家の阿部海太郎と音楽家のトウヤマタケオによるピアノ演奏会を開催します。

二人の音楽家は、岡山県瀬戸内市にある、日本初の国立ハンセン病療養所・長島愛生園でハーモニカ楽団として活動していた「青い鳥楽団」と、その中心にいた音楽家・近藤宏一に惹かれ、2017年からその音楽に新しい息吹を加え、残していく仕事をしています。二人は長い時間をかけて長島と向き合うことで、青い鳥楽団だけでなく、音楽以外の様々な表現とも触れ合っています。島の風景やその暮らし、そして様々な人生を知るようになった二人は、表現者としての自らの在り方をも問うてきました。その活動の中で山本一雄の作品と出会います。

阿部海太郎は幼い頃より音楽に親しみ、独学で作曲を行うようになる、NHK『日曜美術館』(2015-2024年)のテーマ曲やNHK連続テレビ小説『らんまん』のテーマ曲などを手掛ける作曲家です。

トウヤマタケオは、自身の演奏だけでなく、映像や舞台、ダンスへの楽曲提供も行い、演劇作品「100万回生きたねこ」での演奏も行う音楽家です。

山本一雄の描く作品世界に深く共鳴した二人が、その作品から受けた想いを音楽家として向き合い、生まれる音楽で作り出される山本一雄作品と二人の音楽でしか感じる事のできない作品世界を、ぜひ体感ください。

「山本一雄 小さな部屋から」関連企画

2026 2/7^土 阿部海太郎 演奏会
(ゲスト: 当真伊都子)

「しんぱいする かなしむ さそう ひっぱりこむ」

2026 2/21^土 トウヤマタケオ 演奏会

「今日、不思議なことにいくわしたものだ」

19:00 開演 (18:30 開場) 入場料 1,000円

奈義町現代美術館ギャラリー

定員 各回 50名 ※要予約 先着順(定員になり次第締め切り)

主催 奈義町現代美術館

申込方法

二次元コードのフォームよりご予約ください。
(電話、FAX、E-mailの場合は下記からお問い合わせください)

奈義町現代美術館

〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢441

Tel.0868-36-5811 / Fax.0868-36-5855

E-mail: nagimoca@town.nagi.lg.jp

HP: <http://www.town.nagi.okayama.jp/moca/>

奈義町現代美術館 公式インスタグラム



2/7
申込フォーム



2/21
申込フォーム

今日、不思議な事に出くわしたものだ

阿部海太郎 Umitaro Abe

作曲家。クラシック音楽をはじめ世界の伝統的器楽への造詣をベースに、巧妙な編成による音色と独創的な旋律で詩的な世界を浮かび上がらせる。舞台、ドラマ、映画、さまざまなクリエイターとの作品制作などで作曲を手掛けるほか、コンサート企画やアルバム制作も行う。主な仕事に、蜷川幸雄演出のシェイクスピア作品、舞台『未来少年コナン』(2024)、『チ。ー地球の運動についてー』(2025)、映画『基盤斬り』(2025)、ドラマ『京都人の密かな愉しみ』シリーズ(2015～)、NHK連続テレビ小説『らんまん』など。近年は、音楽を通して社会と文化の関わりを問い直す取り組みも積極的に行っている。長島愛生園でその音楽に強烈に惹かれて以降、近藤宏一がのこした譜面や音源の調査、音源化に向けた録音、近藤とゆかりのある人たちとの交流などを通じてその足跡を追っている。



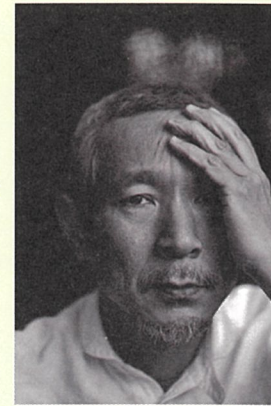
写真：ホンマタカシ

トウヤマタケオ Takeo Toyama

作曲家。鍵盤奏者。映像、演劇、ダンスへの楽曲提供や演奏など、直近では瀬戸内国際芸術祭2025での瀬戸内少女歌劇団による舞台「ガリバー旅行記」に阿部海太郎とのプロジェクト“青い鳥のハモニカ”で参加した。

現在までにオリジナルアルバム9枚をリリース。2025年にはポーランドのバンド Mitch & Mitch と自身の過去作を共同で演奏する演奏会をワルシャワ、大阪、東京で行った。最新アルバム“music room”は港町、尾道で日記のように書き留めたピアノ作品集で、各音楽サイトで視聴できる。

YouTube: youtube.com/c/takeotoyama



写真：三田村 亮

Guest

当真伊都子 Itoko Toma

ピアニスト、ボーカリスト、作曲家。幼少よりピアノ、歌に親しみ、独学で作曲を始める。

ピアノを用いて風景や物語を描き出す、独自の美意識を貫いた作品を国内外の音楽レーベルよりリリース。クラシカルな音色、親しみやすいメロディでリスナーを魅了し、音楽家、美術家、など多方面から高く評価されている。CM、アニメ映画、ドキュメンタリー映画の音楽制作に携わり、今後の更なる活躍が期待されている。

HP: <https://itokotoma.com>

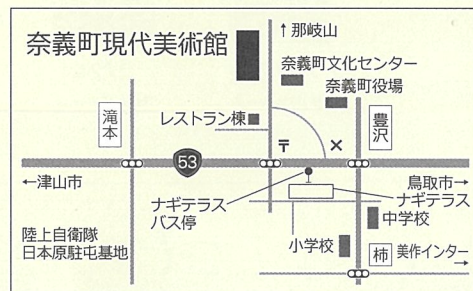


写真：Nobuhiko Nakamura

奈義町現代美術館 Nōgi MOCA

交通機関ご案内

- 岡山駅より約2時間30分
JR岡山駅(津山線)→津山駅(バス、タクシー)→美術館
- 岡山桃太郎空港より約2時間
岡山桃太郎空港(乗合タクシー)→津山駅(バス・タクシー)→美術館
- 大阪駅より約3時間
大阪駅JR高速バスターミナル発、新大阪駅経由→美作インター停留所(バス、タクシー)→美術館



「青い鳥楽団」について



岡山県瀬戸内市にある日本初の国立ハンセン病療養所・長島愛生園にて、1953年に近藤宏一(1938-2009)を中心に結成されたハーモニカ楽団です。近藤は手の指と視力を失いながらも、わずかに知覚が残された唇と舌を使って楽譜を読み、その熱意と努力で12人のメンバーと「音」を共有しながら演奏を行ってきました。ほとんどのメンバーが全盲で、さらに手や足に不自由を抱えていましたが、音楽への愛、演奏する喜び、そしてそれを多くの人

に聞いてもらい、その場と感情を共有したいという強い想いは、多くの人の心を動かしています。演奏のジャンルは多岐にわたりオリジナル曲とカバー曲を交えながら、全国各地で活動を展開していました。

主宰者である近藤宏一は詩を書いたりなど執筆活動も行い、自身の詩や随筆、論考をまとめた著作『闇を光に』などがあります。